ICSI

PRODUCT CATALOGUE

Ionomycin

- 受精障害症例における、ICSI後の卵子活性化処理に用います。
- Calcium Ionophoreで十分な効果が得られない場合に使用します。
- Strontiumに加え、卵子活性化の新たな選択肢を提供します。

Ionomycin with Phenol Red

REF	コード	使用環境	内容量
94240	IOR-10	5-6%CO_2気相下	10mL
94241	IOR-5		5mL
94242	IOR-1.0x5		1.0mL×5

Ionomycin with HEPES

REF	コード	使用環境	内容量
94245	IOM-10	大気下	10mL
94246	IOM-5		5mL
94247	IOM-1.0x5		1.0mL×5

成分

Calcium chloride, Dimethyl sulfoxide, Gentamicin, Glucose, Ionomycin, Potassium chloride, Potassium phosphate, Sodium bicarbonate, Sodium chloride, Sodium lactate, Sodium pyruvate
コードに「R」あり ： Phenol red
コードに「M」あり ： HEPES

品質管理

pH 7.2-7.6, 浸透圧 270-295mOsm/L,
エンドトキシン <0.25EU/mL, 無菌試験,
Mouse Embryo Assay ≥80%
冷蔵保存　2～8°C
有効期限　IOR ： 製造日より4ヶ月間
　　IOM ： 製造日より8ヶ月間

改良のため予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

株式会社北里
本社　　：〒416-0932 静岡県富士市柳島100番地10
東京オフィス：〒105-0012 東京都港区芝大門一丁目1番8号
URL https://www.kitazato.co.jp/　Mail info@kitazato.co.jp

お電話でのお問い合わせ 0120-457-454
FAXでのご注文先 0120-111-471

Copyright© Kitazato Corporation All Rights Reserved. | v.4.01 2025.12.03

PROTOCOL プロトコール

Ionomycinを用いた人為的卵子活性化処理の方法

Ionomycinを用いることで受精率及び胚盤胞形成率が上がる事が報告されています[1,2]。

Ionomycin（HEPESなし）を使用する場合

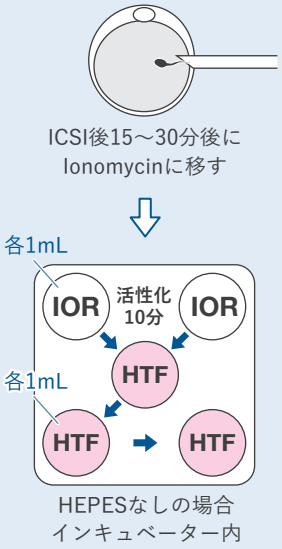
使用例：5-6% CO_2気相下（37°C CO_2またはマルチガスインキュベーター内）

01 ICSI開始前に、Ionomycin（IORドロップ）と洗浄用HTFのドロップを、処理する卵子の数に応じて作成し、2時間以上インキュベーター内で平衡化します※。

02 ICSI後15～30分後に卵子を**01**で平衡化したIonomycin（IORドロップ）に移し、インキュベーター内で10分間静置（活性化）します。

03 10分後にHTFで卵子を3回洗浄し、ICSI後の卵子と同様の操作に移ります。

※ Hypure® Oil(Heavy / Light) を重層した場合は平衡化に要する時間は 3 ～ 4 時間になります。



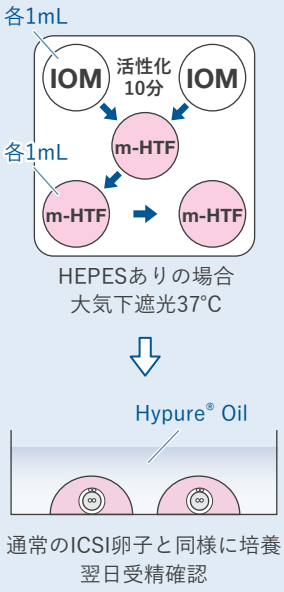
Ionomycin（HEPESあり）を使用する場合

使用例：大気下遮光（37°C 恒温器内）

01 ICSI開始前に、Ionomycin（IOMドロップ）と洗浄用m-HTFのドロップを、処理する卵子の数に応じて作成し、遮光下で30分以上37°Cに温めます。

02 ICSI後15～30分後に卵子を**01**で温めたIonomycin（IOMドロップ）に移し、37°Cの遮光下で10分間静置（活性化）します。

03 10分後にm-HTFで卵子を3回洗浄し、ICSI後の卵子と同様の操作に移ります。



RELATED PRODUCTS 関連製品

- ○ HTFS （REF. 93441）
- ○ HTFRS （REF. 93442）
- ○ HTFMS （REF. 93443）
- ○ HTFMRS （REF. 93444）
- ○ 5ウェルマルチプレート （REF. 1502030）
- ○ Hypure® Oil （REF. Heavy：93621、Light：93521）

REFERENCE 参考文献

1) Nasr-Esfahani MH, Razavi S, Mardani M, Shirazi R, Javanmardi S. Effects of failed oocyte activation and sperm protamine deficiency on fertilization post-ICSI. Reprod Biomed Online 2007;14:422–429.
2) Quintana-Vehí A, Martínez M, Zamora MJ, Rodríguez A, Vassena R, Miguel-Escalada I, Popovic M. Significant differences in efficiency between two commonly used ionophore solutions for assisted oocyte activation (AOA): a prospective comparison of ionomycin and A23187. J Assist Reprod Genet 2023;40:1661–1668.